

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流と、その2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南西に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して630世帯、1,971人が住み、13.66km²の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積・農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このようななかで、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域に(仮称)ちばリサーチパークという研究施設等の大規模開発がスタートし、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

地区面積 13.66km² 地区人口 1,899人 地区人口密度 139人/km²

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、歴史の足跡が現在に伝えられ地区全域が市街化調整地域で伝承文化や地域独自の暮らしが残っている弥富地区の実情を考慮し、地区住民の自主的な交流・集会・学習などの活動の援助をするとともに、そのニーズに応えた主催事業を展開していく。

18年度は、特に佐倉学の趣旨を考慮し低年齢層の公民館利用を促すとともに地域の伝統・風習を体験学習することを目的に事業を展開した。

努力目標

地域の実情に即した学級・講座の充実をはかる。

広報活動を通して、地域と公民館との結びつきをはかる。

地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にした。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

開館時間

午前9時～午後5時（申込みがある場合は午後10時まで）

休館日

国民の祝祭日・年末年始・日曜日

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
利 用 件 数	284	324	379	378	310
利 用 人 数	4,582	6,827	6,145	5,353	3,926
開 館 日 数	293	294	294	292	293

事業の部

事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	親子遊びのつどい	幼児期の親子のコミュニケーションの大切さを遊び、協同作業、講義等を通して学習した。	市内の2・3歳児と母親及び保護者 15組	6月～2月 12回
	家族で遊ぼう	家族で遊ぶことを通して、親子が一緒に何かをすることの大切さを学んだ。	小学校入学前の児童とその家族 15組	11月 2回
少年教育	弥富剣道教室	剣道を通して日本の文化や礼儀作法を修得するとともに「立身流」の技術を学んだ。	市内の小・中学生 15人	5月～3月 37回
	星空観察会	星空を観察することで地区の豊かな自然と科学への興味を育んだ。	弥富小児童及び一般 延べ120人	7月・11月・3月 3回
	成木餅づくり	地域の伝統行事を親子で体験し興味を育んだ。	市内在住の小学生と保護者 27人	1月 1回
	なんでも体験弥富塾 (佐倉っ子塾)	弥富地区の豊かな自然や歴史・風習を様々な体験や実習・講義を通して学習した。	弥富小学校児童 22人	6月～2月 9回
成人教室	くらしの講座 ・バス研修 ・料理教室 ・塩古ざる作り	地域の食材を生かした料理や食文化を次代に伝えるための講座。地域で作られ伝えてきた塩古ざるづくり。バス研修を通じて世代を越えた様々な人達の交流が図れた。	弥富地区の一般成人 延べ159人	6月～2月 14回
	パソコン教室 ・初めてのパソコン ・ワードを使いこなそう ・暑中見舞い作成 ・年賀状作成	パソコンを習いたい人が触れる機会のない人に基本的な操作について学習をした。	弥富地区在住の一般成人 延べ50人	6月～11月 5回
	岩富城の歴史を探る講座 (佐倉学)	岩富城の歴史を探ることを通して、地域に対する郷土愛を育てるとともに、他地区の住民に対して弥富地区への理解を深めた。	一般 25人	11月～2月 6回
	YATOMIウォッチング (竹炭作り体験)	地域にある窯を利用して竹炭づくりの体験を行った。	一般 20人	11月 1回
	グラウンドゴルフ	軽スポーツ(グラウンドゴルフ)をとおして、子供から高齢者まで一緒に健康増進と親睦をはかる。	一般 延べ50人	6月・11月 2回
	ふるさと弥富散策会	鹿島川流域の散策をし、弥富地区の豊かな自然等について理解を深めた。	一般 延べ50人	5月・10月・3月 3回

広報	弥富公民館だより	公民館の事業案内や紹介、地域の学習・生活情報の提供等を行った。	弥富地区全戸	年3回
	主催事業案内	公民館主催事業や地域の行事について周知した。	弥富地区全戸	年2回
団体育成	弥富民俗資料収集委員会	委員会の資料活用、実施事業に効果的な支援を行った。		随時
	弥富民俗資料展示室	展示室の見学に対し、文化課と連絡をとって説明・案内の実施に協力した。		随時
	グラウンドゴルフ大会	青少年健全育成住民会議の開催する地区グラウンドゴルフ大会の開催を協力した。		6月・11月 2回
図書	図書の貸出し	児童や一般に対して、図書の貸出しを行う。	一般	通年

家庭教育事業

親子遊びのつどい

開設趣旨 子どもたちが、友だちとの遊びやものを作ることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要性を学習するとともに、保護者も一緒に行動することで、子育てについて考え、学習することのできる場とする。

対象・人数 市内の2・3歳児とその保護者 15組

期間・回数 平成18年6月20日～平成19年2月20日 12回 午前10時～11時30分

学習目標 幼児を、個性を持つ独立した人間として捉える。

講座の遊びを、個人でも展開できる。

講師と保護者、保護者と保護者の結びつきを強める。

指導者 蓮 淳子

学習内容 リズム体操、工作、野外散策、絵本の読み聞かせ等

講座を終えて

今年度は地区内外から例年になく参加者が集まり、会議室が狭く感じられるほど盛況となりました。弥富地区では、就学前の子供の数が減少傾向にあり、同年齢の子供たちと集団で活動する機会が少ないので、和田公民館の親子教室との交流会も併せて子供たちも貴重な経験となったようである。

この年齢の子供たちは、特に親子のふれあいが必要な時期であり、身近なものを使っての様々なプログラムを親子で共に行うことの意義は大きい。

他の子供と比べることにより、いつもと違った視点で子供を見つめることのできる貴重な機会の提供になっていると思うので次年度からも更に内容を工夫して充実させていきたい。

家族で遊ぼう

開設趣旨 家族で遊び、協同作業をすることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要さを学習する。

対象・人数 佐倉市在住の小学校入学前の児童とその家族 15組

期間・回数 平成18年11月3日(祝)・11月26日(日) 2回 午前10時～11時30分

学習目標 家族で同じ時間を共有することの大切さを学ぶ。

指導者 蓮 淳子

学習内容 川村記念美術館野外散策、親子運動会

講座を終えて

「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を休日に設定することにより母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。

川村記念美術館を散策し草木や動植物に親子で触れたり、身近にあるもので工夫して親子でおもちゃ作りを体験して楽しく遊びました。

また、親子運動会では、お父さん達も参加して子供達一緒にと色々な競技を行いよいふれあいの場となったと思う。

少年教育事業

なんでも体験弥富塾(佐倉っ子塾)

開設趣旨 弥富地区の豊かな自然や歴史・風習を地域の方を講師に招き、様々な体験や実習・講義を通して学習する。

対象・人数 弥富小学校の児童 22人

期間・回数 平成18年6月10日～平成19年2月17日 9回 午前9時30分～11時30分

学習内容 ざりがに釣り、工作、料理づくり、伝承遊び、親子バス見学(航空科学博物館他)

講座を終えて

弥富地区の豊かな自然や歴史・習慣を地区の人達を講師として活用し、保護者の参加も促しながら様々な体験を通して子供達に伝えていくことを目的に実施してきたが、子供達も日頃なかなかできないことを体験できて好評だったようである。次年度は、更に内容を充実させるとともに地元との連携を深めていきたい。

弥富剣道教室

開設趣旨 佐倉市に歴史的な遺産として継承されている「立身流」(千葉県指定無形文化財)を念頭に置き、日本固有の剣道の修練を行うとともに、文化の継承と地域の歴史・風土を身をもって大切にすることを育てながら、仲間意識の醸成をはかる。

対象・人数 佐倉市在住の小中学生 15人

期間・回数 平成18年5月13日～平成19年3月10日 37回 午前9時30分～11時30分

学習目標 剣道の技術とこころの学習を高める。

学年間の交流を進め、人を大切にする心を育てる。

郷土意識を醸成し、地域の文化を大切にする意識を高める。

指導者 林 善一、櫻村 典久、片岡 康平

講座を終えて

千葉県は無形文化財で佐倉市に伝わる「立見流」の技と精神を指導され、子供たちも基本の型を修得できました。居合刀を一振りするごとに風を切る迫力のある音が耳に届き、伝統の技を感じました。

通常の稽古でも、週に一度の限られた時間に密度のある稽古を目指し、特に声を出し元気に練習することを第一の目標とし、精神面でも成長がみられました。

星空観察会

開設趣旨 自然が残り、佐倉市の中でも暗い夜空が望める弥富地区の環境を星空を観察することで体験するとともに親子で宇宙の神秘を感じる心を共有する。

対象・人数 弥富小学校の児童とその家族 延べ120人

期間・回数 平成18年7月26日(水)、11月30日(木)、平成18年3月22日(木) 3回 午後7時30分～9時

学習内容 天体望遠鏡を使って、月や木星・土星などを観察する。

指導者 公民館職員

講座を終えて

親子連れや高齢者の方まで幅広い層の参加があり、月のクレーター・土星の環や星雲を天体望遠鏡で観察して宇宙の神秘に感動の声を上げていました。

市内でも恵まれている弥富地区の自然環境に対する愛着と宇宙に対する興味を育む事が出来た。

成木餅づくり

開設趣旨 地域の伝統行事を親子で体験し興味を育む

対象・人数 市内の小学生とその保護者 27人

期間・回数 平成19年1月14日(日) 午後1時30分～4時

学習内容 親子での成木餅作り

指導者 岩井 明

講座を終えて

近年、弥富地区においても成木を作る家が減少してきている。親子で餅をつき成木を作り、どんど焼きに参加する事で、地域に伝わる風習を見直すよい機会になったと思う。

成人教育事業

岩富城の歴史を探る講座(佐倉学)

開設趣旨 岩富地域を中心に、近世の鹿島川流域の変遷を学習し、郷土への関心を高めるとともに、市民の交流を図る。

期間・回数 平成18年11月19日(日)～平成19年2月3日(土) 全6回

対象・人数 市内の成人 25人

学習内容

学習を終えて

佐倉学の一環として、今年度は中世の岩富城を中心として新規の受講者が解りやすいものとなるように講座の内容を検討した。次年度から公民館全体が一体となって佐倉学について共通事業を展開する事になるので、その中で館の特色も打ち出せるような内容を考えたい。

くらしの講座

バス研修

開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。

対象・人数 弥富地区の一般成人 延べ75人

期間・回数 平成18年6月7日(水)、平成19年2月28日(水) 2回 午前8時30分～午後5時

学習内容 第1回 ヒゲタ醤油銚子工場・ウォッセ21見学

第2回 館山観光いちご狩センター・道の駅潮騒王国見学

料理教室

開設趣旨 弥富地区の伝統料理である太巻き寿司及び地区で取れる野菜などを使った料理教室を行うことで、くらしの一部である料理技術の習得を図るとともに参加者同士のコミュニケーションを深める。

対象・人数 市内の一般成人 延べ72人

期間・回数 平成18年11月10日(金)、12月14日(木)、平成19年1月19日(金)、2月16日(金) 4回
午前9時～午後4時

学習内容 豆腐づくり、そば打ち体験、太巻き祭り寿司

塩古ざる作り

開設趣旨 弥富地区に作り伝えられてきた手作りの「塩古ざる」を次代に伝えるため、地区在住の大西さんを講師に招いて開催した。

対象・人数 弥富地区在住の成人 12人

期間 平成18年8月23日(水)～11月18日(土) 全8回 午前9時～午後4時

学習内容 「塩古ざる」の作り方の学習

指導者 大西やす

講座を終えて

バス研修は、恒例となっており地区の人達の交流を深めるよい機会となっている。

また、太巻き寿司などの伝統料理や塩古ざる作りは、弥富地区の中にもできない人達が増えており、次世代に伝えるためにも機会を増やしていきたい。今年度は、特に幼稚園保護者に働きかけたことにより若い層の参加者が増加した。

YATOMIウォッチング

開設趣旨 弥富の民俗行事や自然を他地区の住民に体験してもらい、その保護・育成について考えるきっかけづくりとする。

期間・回数 平成18年12月3日(日) 午前9時30分～午後3時

対象・人数 市内の成人 20人

学習内容 竹炭づくりの体験

学習を終えて

市街地の人達の参加が多かった。弥富の自然は昔ながらのものがたくさん残っているので、地区外からくる人たちには新鮮にうつるところが多いと思う。地域の方に講師をお願いしており、弥富地区の暮らしや自然について直に交流する良い機会になっている。参加者には都市部や農村部のそれぞれのいいところを吸収し、これからの生活に役立ててくれればと思う。

グラウンドゴルフ

開設趣旨 市内で高齢化率が最も高い当地区において、軽スポーツを通し高齢者の健康管理を図るとともに子供たちとの交流の場とする。

対象・人数 弥富地区の住民 延べ50人

期間・回数 平成18年6月4日(日)、11月4日(土) 2回
午前10時～11時30分

学習内容 グラウンドゴルフの練習

講座を終えて

住民会議が主催して年に1回地区で大会が開催されている影響もあり、グラウンドゴルフの人気は高く、小学生から高齢者まで多くの参加があり、健康づくりと世代間の交流の場となっている。

ふるさと弥富散策会

開設趣旨 地域の人を案内人に、弥富地区を散策することにより他地区の住民に対し、弥富地区の豊かな自然等について理解を深める。

対象・人数 佐倉市民 延べ50人

期間・回数 平成18年5月31日(水)、10月25日(水)、3月21日(水) 3回

学習内容 鹿島川流域の散策

講座を終えて

講座を通して他地区の人に自然豊かな弥富地区への理解を深めることができたと思う。

パソコン教室

開設趣旨 パソコンにふれる機会がない人に学習の機会を提供すると共に、普段公民館にくることの少ない層の人達が公民館に来館し、公民館活動を理解してもらうきっかけづくりとする。

対象・人数 弥富地区の成人 延べ50人

指導者 檜村典久

学習内容

初めてのパソコン………パソコンに初めてふれる人を対象にスイッチの入れ方から文字入力・メール、インターネット等パソコンを操作するための基礎知識を身につける。

期日・回数 6/14・6/21 2回

ワードを使いこなそう……イラストや写真を使って見栄えの良い文章を作る

期日・回数 6/28 1回

暑中見舞い・年賀状づくり

期日・回数 7/5、11/26 2回

講座を終えて

弥富地区もパソコン操作を習得することへの意識が高まってきている。その要望に応えるため、基本的な操作についての学習を目的に講座を開設した。

ここ数年の開催で、一通りパソコン修得を希望する住民に対しては成果が上がっており、規模の縮小も視野に入れ講座内容を見直す時期に来ている。

広報事業

公民館だより

ねらい 公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。

発行回数 年3回 学期ごとに作成

規格等 A4判4ページ 600部

配布方法 連絡長を通じて全戸配布

援助事業

弥富民俗資料展示室

展示室の見学に対し、文化課と連携をとって説明・案内の実施に協力。地区の老人クラブを中心に説明に当たっている。

図書事業

図書の貸出し

内容 弥富地区には図書館もなく、今年度より移動図書館も巡回しなくなったため、会議室にある図書コーナーに、公民館の予算で図書の整備を行い図書の貸出しを行っている。

蔵書数 500冊